

赤十字おおきま

NO. **07**

Okayama Chapter



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

新しい救急法講習がスタート！



救急法講習が新しくなりました

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツが盛り上がりを見せています。スポーツでのケガや事故だけでなく、いざという時に迅速に初期対応できるかどうか重要です。適切な知識や技術を身につけることで、あなたにも救える命があります。今回は新しくなった「救急法講習」のポイントをご紹介します。

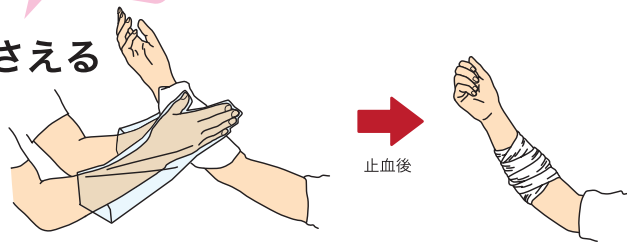
しけつ
止血

直接圧迫止血法

身近な布で直接強く押さえる

出血している傷口をガーゼやハンカチなどで直接強く押さえて、しばらく圧迫することで止血を行う方法です。

基本はこれ！



止血帯止血法

身近な布を止血帯に使う

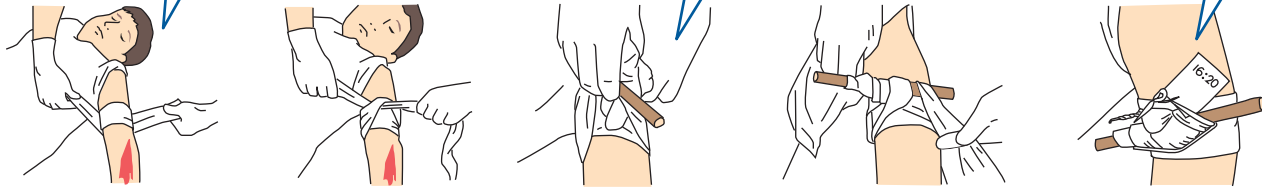
出血している手足の体に近い方(中枢側)を帯状のもの(止血帯)で締め上げて、血流を止めることで止血する方法です。

出血量が多い時

幅5cmくらいの帯状の物を出血位置から心臓寄り約5～8cmの位置に巻く。

棒を差し込み、ねじり止血する。

止血した時刻を記入する。



のうそっちゅう
脳卒中
の症状

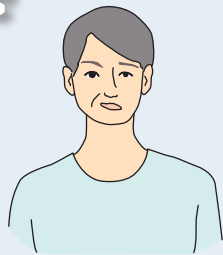
ファスト
FASTの合言葉で覚えましょう！

New!

チェック
ポイント

脳卒中のひとつである脳梗塞では、痛みが生じず意識もあるため、切迫感がなく、医療機関にかかるのが遅れてしまう場合があるのでご注意ください。

F 顔(Face)の麻痺



口角など顔の片側が下がる。
ゆがみがある。

A 腕(Arm)の麻痺



片手に力が入らない、
だらりと下がる。

S 言葉(Speech)の障害



言葉が出てこない。
それつがまわらない。

T 発症時刻(Time)

こんな症状が
あったら
脳卒中かも！
すぐに119番
通報を！

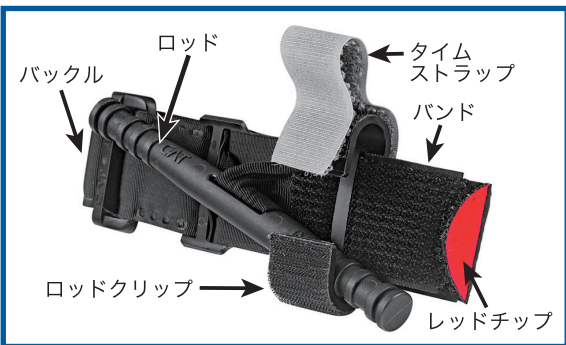
New!

出血量が多い時

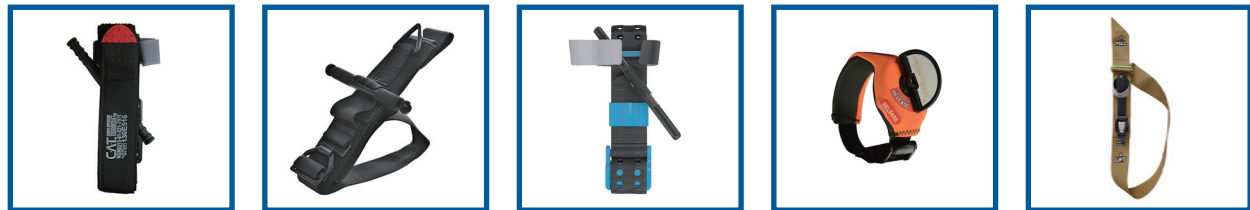
専用の止血帯「ターニケット」を使う

止血帯「ターニケット」は、バンド部、クリップ部、巻き上げロッド及びバックルで構成され、一人あるいは片手で止血措置が可能で、受傷者自身でも素早く上肢・下肢の止血が可能です。新しい講習では、ターニケットを実際を使用して締め方を体験することができます。

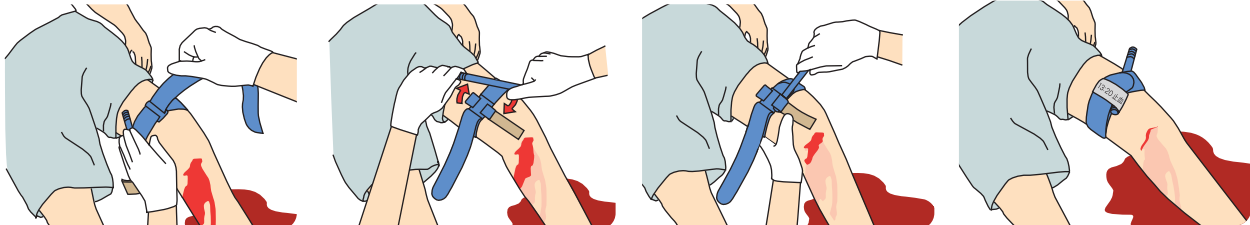
※ターニケットは小児には使用しないようにしましょう



ターニケットの種類 専用のターニケットには、棒状のロッドを締めるものが多いですが、ダイヤル式のものもあります。



ターニケットの使用方法(例)



ターニケットを腕や脚へ巻き付け、バンドを固定する。 止血されるまで巻き上げロッドを回す。 ロッドをクリップでロックする。 ロッドとバンドをタイムストラップで固定し、装着した時刻を記入する。

指導員を派遣します

「救急法講習」などの開催を希望される団体、コミュニティの皆さまを対象に日本赤十字社岡山県支部から指導員を派遣します。詳しくは右記までお問い合わせください。

日本赤十字社岡山県支部 事業推進課

TEL 086-221-9595

赤十字講習のご案内

緊急時の手当て、事故防止に必要な知識・技術を学べる講習です。ぜひ積極的に受講ください。

救急法

突然倒れた人に
居合わせた方が
すぐに手当てをすれば
助かる命があります。

水上安全法

日本では水の事故で
年間700人以上もの
尊い命が失われています。

幼児安全法

子どもの死因の
上位を占める不慮の事故を
減らすには予防が大切です。

健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を
健やかに過ごすためには
健康維持や自立が大切です。

詳しい講習の内容とお申し込みはホームページから

日本赤十字社岡山県支部

検索

地域の災害対応能力強化のための資器材等を配備

今年度は岡山県下に災害救援車両を9台、備蓄や資器材の保管などに使用する倉庫を6棟配備しました。これまでと併せて災害救援車両は18台、倉庫は10棟になり、各地域で活用されています。

